

事業評価票（報告団体への支出予算）

1	私立高等学校海外留学推進補助（生活文化局）	団体名 （公財）東京都私学財団	区分	補助	27年度予算額	400,000 千円	26年度決算額	218,551 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> 本財団は、私立学校への各種補助事業における豊富な経験と実績を活かし、私立高等学校が行う留学に参加する生徒に対し、その参加費用を一定の基準により助成している。本財団の行う事業に対し補助を行うことで、私立高校生の留学を促進し、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を支援する。 								
成果・決算状況等		<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、62校、286人に対して、合計216,550,743円の補助を行った。 								
事業実施上の課題		<ul style="list-style-type: none"> 本事業においては、留学期間に応じて50万円、75万円、150万円の補助金額を設定し、1校あたり500万円を申請限度額としている。 そのため、75万円または150万円のみ単価で本制度を利用すると、申請限度額まで有効に活用できない場合がある。 								
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> 1校当たりの申請限度額をこれまでの500万円から600万円に引き上げ、学校にとって使いやすい制度とすることで、補助対象者の拡大を図る。 					拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度見積額	400,000 千円		
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> 予算の範囲内において活用しやすい制度へ改善を図っていることから、妥当と判断し、見積額のとおり計上する。 					拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度予算額	400,000 千円		
2	東京アスリートの競技力向上事業（オリンピック・パラリンピック準備局）	団体名 （公財）東京都体育協会	区分	その他	27年度予算額	274,345 千円	26年度決算額	281,957 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、東京育ちのアスリートの競技力向上を図るため、選手の強化事業を展開している。 本協会は東京都におけるスポーツの統一組織として、競技スポーツを発展させることを目的の一つとする団体であり、本事業を協力して行う必要がある。 								
成果・決算状況等		<ul style="list-style-type: none"> これまでの競技力向上策の成果として、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）では総合優勝を果たし、27年度の第70回国民体育大会では総合準優勝、女子優勝（皇后杯獲得）の成績を収めている。 								
事業実施上の課題		<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会の目標として、東京育ちのアスリート数をオリンピックは100人、パラリンピックは25人と設定している。目標を達成し、一人でも多くの選手が大会で活躍するべくこれまで以上に競技力向上を図る必要がある。 								
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会に向け、より個人に着目した選手強化策が急務であり、集中的な強を図る必要があるため、これまで以上にレベルの高い選手を「オリンピック・パラリンピック強化認定選手」として都が選定し、支援を実施する。 また、指導者育成事業も立ち上げ、世界レベルの指導者を育成し、アスリートの育成・強化に還元する。 					拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度見積額	330,227 千円		
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会に多くの東京育ちのアスリートが出場できるよう、都としてもアスリートの育成を強化していく必要がある。アスリートに集中的に支援を行っていくために所要額を計上する。 					拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度予算額	333,162 千円		